

眼科検査のあれこれ

～眼科コラム～

聖隷沼津病院 眼科検査室

眼位検査について

多くの人はものを見た際に、両眼の視線が同じ方向を向いていますが、中には、右眼と左眼の視線が違う方向を向いている人もいます。

その人の両眼の視線の向きを調べる検査を眼位検査といいます。

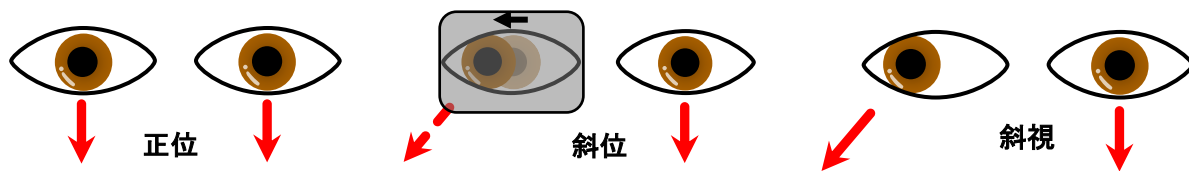
眼位とは

眼位とは、どのような時に両眼の視線がどこを向いているかでいくつかの種類に分かれます。

正位・・・両眼で見ているときも、片眼を隠して見ているときも、両眼の視線が同じ方向を向いている状態。

斜位・・・両眼で見ているときは両眼の視線が同じ方向を向いているが、片眼を隠して見ているときは、右眼と左眼の視線が違う方向を向いている状態。

斜視・・・両眼で見ているときも、片眼を隠して見ているときも、右眼と左眼の視線が違う方向を向いている状態。

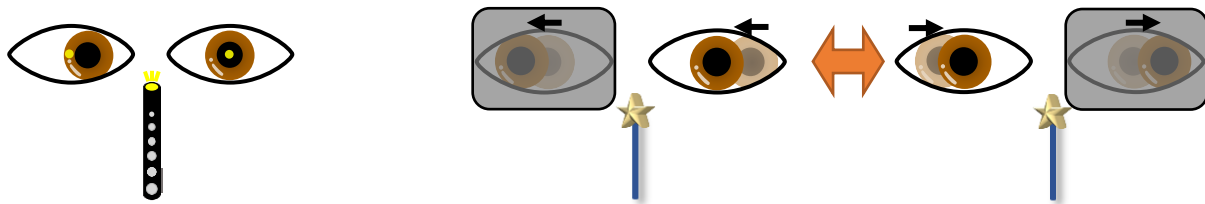


どうやって検査するの？

眼位検査では、ペンライトの光や×印、人形など、何か1箇所ををもらい行います。

ペンライトの光ををもらうやり方では、光の反射が角膜のどの位置にあるかをみて、眼位を確認しています。

×印や人形ををもらうやり方では、両眼で見てもらい、片眼ずつ隠して隠していない眼に動きがないか、隠していたものを取り除いた時、隠していた眼に動きはないかなどをみて、眼位を確認しています。



上記の方法で斜視や斜位が疑われる場合は、光を屈折させる”プリズム”を使用し、

ペンライトををもらうやり方では、光の反射が角膜の中心にくる様にプリズムの量を増やします。

固視目標ををもらうやり方では、片眼ずつ隠した時、隠していたものを取り除いた時の眼球の動きが無くなる様プリズムの量を増やします。

このときのプリズムの量が眼の位置のずれの量になります。

